

経済学へのアプローチ

名古屋大学経済学部案内

2021



名古屋大学
NAGOYA UNIVERSITY



幅広い教養・知識
理論的思考力

専門的知識

T字型人材の育成

どのような経済活動も、多くの人々の協働と多様な知識の結集によって成り立っています。製品を作って売するという単純な行為でさえ、何を作るのか、どうやって作るのか、作るのに必要な労働力、資材、資金の調達はどうするのかなど、それぞれに専門的な知識や技術、それらを担う人々の協力が不可欠です。そして、このために必要な知識は、人文科学や自然科学の領域にまで広がっており、そのすべてを一人で勉強してマスターすることは現実的ではありません。そこで、経済学部卒業生には自分自身の専門分野を磨くとともに、幅広い分野の人との協働を可能にする学識が求められます。ここでいう学識とは、コミュニケーションの基礎となるような幅広い教養や知識、および論理的思考力のことです。このような学識と専門的知識を兼ね備えた人のことをT字型人材と呼ぶことがあります。Tの横棒が異分野の人との連携を可能にする学識、縦棒の部分が深く掘り下げた自分の専門的知識の部分です。

名古屋大学経済学部は、前身である旧制名古屋高等商業学校（1920年創立）以来100年に至る伝統の中で、まさにT字型人材を育成してきたといえます。専門（Tの縦棒）を徹底的に鍛える3、4年次のゼミと卒論研究は、一人の教員が指導する学生を原則8名までとする徹底した少人数教育を厳格に実践しています。また、幅広い学識（Tの横棒）を獲得するために、1、2年次に行われる全学教育（一般教養）だけでなく、専門科目群の中に理論的アプローチ、歴史的アプローチ、事例研究、実地調査など多種多様な科目を用意しています。かつての旧制名古屋高等商業学校が、「単なる商業経済の専門学校でなく総合大学としての偉容を有する」と賞賛された、そのDNAを今に引き継ぎ、有為なT字型人材を自然に育むカリキュラムを展開しています。



経済と経営を複眼的に学ぶカリキュラム

名古屋大学経済学部のカリキュラムの特徴は、経済理論・経済政策、制度経済学・経済史、経営学・会計学という幅広い分野を網羅していることです。経済学部は経済学科と経営学科とに別れていますが、どちらに所属しても、これらの分野を一通り勉強することになります。これによって、

社会や市場全体を見渡す「経済学的視点」と、個別企業の立場から考える「経営学的視点」を同時に持つ複眼的な人材を育成します。また、歴史を通じて多様な経済体制について学ぶことで、現代社会を様々な切り口で分析できる人材を育成します。

経済学科 個人や企業の自由で合理的な意思決定に基づく社会全体の調和と発展について考えます。

経営学科 集団に調和と秩序を持たせる方法、合理的な意思決定の方法について考えます。

分野	分野の特徴	1年	2年春学期	2年秋学期～4年
理論・政策	「経済学」と聞いて最初に思い浮かべる主流派の経済学（近代経済学）を学びます。数理的な理論分析と統計的な実証分析を通じて、財政、労働、金融、農業、教育、医療などの社会問題を考える方法を学びます。「経済学を学んだ」と言うためには、欠かすことのできない分野です。	統計解析 経済数学A 経済数学B マクロ経済学Ⅰ ミクロ経済学Ⅰ 計量経済Ⅰ	マクロ経済学Ⅱ ミクロ経済学Ⅱ 計量経済Ⅱ	国際経済 公共経済 経済政策 財政 金融 経済発展 労働経済 産業組織 農業経済
制度・歴史	経済学は大がかりな実験ができません。そこで、各国の多様な制度や歴史を手掛かりにして、政治・文化・社会など、多様な側面を考慮しながら、資本主義経済の仕組みを理解しようとする分野です。主流派の経済学を絶対視せず、批判的な目を持って理解するためにも欠かせない分野です。	政治経済学Ⅰ 一般経済史Ⅰ	政治経済学Ⅱ 一般経済史Ⅱ	経済学史 現代資本主義 日本経済史 西洋経済史 社会思想史
経営・会計	経済理論は、人や企業が合理的に行動すること、情報が完全に行き渡っていること、市場への参入・退出が自由であることを仮定しています。これを、立場を変えて、どうすれば合理的に行動できるか、どうやって情報を収集・処理するべきか、いつ、どうやって市場に参入・退出するべきかを考えます。3分野の中ではもっとも実践性を重視する分野です。	会計Ⅰ 会計Ⅱ 経営Ⅰ 財務諸表Ⅰ	経営Ⅱ 財務諸表Ⅱ	財務会計 管理会計 経営組織 ファイナンス 生産管理 情報処理 国際会計 経営分析 経営労務 マーケティング 経営戦略 監査 経営情報



ゼミナールで学ぶ

徹底した少人数制による専門研究と人格的交流の場

経済学部のカリキュラムにおいて、ゼミナールは重要な役割を果たしています。ゼミは必修で、教員と原則8名までの学生によって構成されます。ここで専門分野の研究を集中的に行います。

まず2年次秋学期に、各教員によるゼミのテーマの発表、先輩達によるゼミ紹介などを参考にゼミを選択し、書類審査や面接を経て、所属ゼミが決定されます。そして、3年次からゼミが始まります。各ゼミの活動内容は多種多様ですが、一般的には、数冊のテキストを読み、報告・討論する形で運営されます。工場見学や企業調査を行ったりするゼミもあります。また、夏休みには、レポートが課さ

れたり、ゼミ合宿を行ったりすることもあります。インターゼミナール（他大学との研究発表会）に参加するゼミもあります。4年次には、卒業論文の作成が重要な課題となります。研究テーマを絞り込み、より専門的な文献を読んだり、詳細なデータ分析をしたりします。そして1月中旬に、4年間の勉学の集大成として、卒業論文を提出します。

この他にも、ゼミ旅行やコンパ等、ゼミ単位の行事がたくさんあります。このように、ゼミは単に専門知識を学ぶだけの場ではなく、教員や学生同士の人格的交流の場でもあります。ゼミ活動にどのように関わるかで、経済学部の生活は大きく変わるといいでしょう。



宮崎ゼミナール

宮崎ゼミでは、社会に潜在する様々な課題を認識して、それらを経営学の視点から分析・考察することを学びます。まず、世の中にどのような課題があるのかを認識することからはじめますが、意外に難しいでしょう。次に、課題の解決をめざしますが、最適解は容易に見つからないでしょう。同じゼミ生の間でも、物事のとらえ方が異なります。一人ひとりの独特な考えや知識を互いに開示して自由に意見交換する中から、課題の本質が見えてきます。これは、ゼミの仲間とともに新しいビジネスプランを考える実践的な学びによって経験できます。

宮崎ゼミでは、ビジネスプラン・コンテストにグループで参加し、新規事業を考え提案しています。事業内容には独自性や斬新さが求められますが、収支予測や市場性については具体的なデータなどの根拠が求められます。私たちは必要な情報やデータを特定し、そのデータを効果的に利用して事業内容を立案するのにと

ても苦労しました。しかし、このビジネスプラン・コンテストへの参加を通じて、経営分析の手法や効果的な情報収集の方法を知識として学ぶだけでなく、並行して学んだことを実践するという貴重な経験を得ることができました。

4年 山本 真穂 さん



玉井ゼミナール

玉井ゼミでは、公共的課題（財政問題・環境問題・社会保障制度・少子高齢化など）を中心に「よりよい暮らしを実現するためにはどうすればよいのか」、知識に基づき考える力の修得を目標としています。3年春学期は、公共経済学の標準的なテキストを輪読し理論分析の手法を学修します。3年秋学期は、ゼミ生の興味に応じた専門書またはテーマに基づいた研究報告・レポート作成をします。4年次には、各自が設定した課題についての理論分析や計量分析を行い、卒業論文を作成しています。その他の活動としては、教員・ゼミ生の交流のために、懇親会、ゼミ旅行・合宿（他大学との合同ゼミ）を行っています。

玉井ゼミでは3年後期に、前期で学んだ知識を生かしてグループで研究を行います。私たちのグループは租税回避の問題をテーマにし、発表に向けて準備を始めました。租税回避といっても経済的損失、過去の事例、法改正についてなど、テーマの範囲が想像以上に広いことに気がつき、そのテーマ範囲を絞る作業に苦労しました。そこで一人一人が各自調べてきたことをメンバー同士で発表し合うことで、自分たちが知りたいことは何か、どんな

データが必要かを少しずつ理解しました。ゼミではグループ研究などを通して、自分の気になることを深く調べ、それを人にわかりやすく説明する、文章にまとめるという力が鍛えられます。今までのゼミで学んだことや先生からのアドバイスを生かして、卒業論文ではよりオリジナリティのある研究を目指したいと思っています。

4年 成田 奏世 さん

教授陣の研究成果

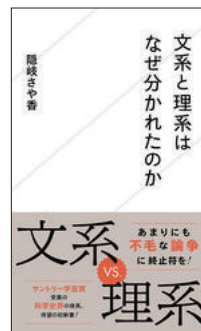
ゼミナールに所属するようになると、教員との距離はぐっと近づきます。ふだんの講義でみられなかった教員の研究内容や素顔に触れることになるでしょう。経済学部の教員は、日々、研究に取り組み、専門書や学術論文を執筆して

います。ですが、そうした難解な研究成果以外にも、学生や一般の方向けの比較的やさしい本もたくさん世に送り出しています。ここでは、そのような書籍の一部を教員の声とともに紹介します。



**産業組織と
ビジネスの経済学**
有斐閣
著書：花蘭 誠

本書は産業組織論の教科書です。特色としては、価格戦略、製品差別化、広告、参入阻止や吸収合併・企業提携、知的財産権、プラットフォーム戦略など、いわゆる「ビジネスエコノミクス」の要素について類書よりも重点を置いて論じている点があげられます。産業組織論という分野は聞きなれないかもしれませんが、様々なマーケット（市場）における企業の行動を説明し、その意義や問題点を社会経済の観点から論じる経済学の一分野です。経営学と分析対象が重なっていますが、経営学では個別の組織の視点から事業の運営を論じる一方で、産業組織論では産業における企業同士、企業と顧客の連関関係に注目して、企業利潤だけでなく競争相手、取引相手、消費者等の利害関係者の利害も含んだ「社会的な便益」を高める手段や政策は何かを論じるのが特徴です。いま、GAFAMと呼ばれる巨大なプラットフォーム企業は社会に対する影響力を不当に行使しているのか、（どう）規制すべきか、という分析や政策の検討が各国で重要な課題となっています。この課題に経済学からの解決法を考えるために、産業組織論は重要な役割を果たすことが期待されています。



**文系と理系は
なぜ分かれたのか**
星海社新書
著書：隠岐 さや香

文系と理系にわけるのはもう古い、と言われることがあります。でも、現実の社会では今でも受験や就職の場面でそれを意識させられます。また、SNSには「理系に進学したかったけど女の子は向かないと言われた」「男が文学部はやめとけといわれた」などの喧嘩がみられます。研究者の世界では、文系理系という言い方こそあまりしませんが、人文社会系と理工医系などの区分は存在しています。本書は「文系・理系」をめぐるとの不思議な状況をわかりやすく整理するために書かれました。第一章では、西洋世界で発展した様々な学問の分野が「自然科学」と「それ以外の分野」（すなわち人文社会科学）に分かれていく歴史をまず確認します。第二章では、日本が近代化の際に文系・理系という枠組みとどう向き合ったのかということ、第三章では産業界が文系・理系をどのように扱ってきたのかという問題を検証します。第四章では冒頭に書いたようなジェンダーの問題が文系・理系進学とどのように関わってきたかも考察しています。そして最終章では文系・理系の諸学問の特徴を踏まえた上で、「文理融合」や「学際的研究」の可能性および難しさの双方について論じています。

近年に出版された書籍一覧

鍋島直樹 『現代の政治経済学：マルクスとケインズの総合』 ナカニシヤ出版
辻正次・竹内信仁・柳原光芳 『新版経済学辞典』 中央経済社
宮崎正也 『デマンド・サイド経営学：顧客と共創する使用価値』 中央経済社
宇仁宏幸・巖成男・藤田真哉 『制度でわかる世界の経済：制度的調整の政治経済学』 ナカニシヤ出版
多和田真・柳瀬明彦 『国際貿易』 名古屋大学出版会
清水克俊 『金融経済学入門』 東京大学出版会
小沢浩 『簿記がわかってしまう魔法の書』 日本実業出版社



海外派遣プログラムで学ぶ

大学全体のプログラムに加え、経済学部独自の海外派遣プログラムも充実

名古屋大学経済学部では、グローバル人材の育成を目指して、複数の国際交流プログラムを提供しています。例えば、ドイツ・フライブルク大学への夏期派遣プログラム、ベトナム貿易大学への派遣プログラム、シンガポール国立大学への派遣プログラムなどがあります。1学年205名の入学定員に対して約40名分の枠が用意されているため、5人に1人はこれらのプログラムを利用して海外経験をすることになります。また、これらの派遣プログラムでは、政府や企業、大学や同窓会（キタン会）から資金的な支援を頂いて、学生の渡航費用を補助しています。

学生の派遣だけではなく、ベトナムやシンガポールなど

の海外協定大学の学生の受け入れも行っています。日本にきた学生は、学内で講義を受講するだけでなく、名古屋大学の学生と一緒に工場見学やグループワークに参加しています。名古屋大学の学生は、日本に居ながらにして、あるいは、自分が海外派遣プログラムに参加する前に、国内で海外の優秀な学生と触れあい、一緒に学ぶことができます。

さらに、名古屋大学全体としても、世界に100以上の協定大学をもち、数多くの海外派遣プログラムを提供していますので、学生は自分の語学レベルや目的に合ったプログラムを選択することができます。経済学部の派遣プログラムを経験した学生の多くが、その後、交換留学しています。



●ベトナム貿易大学への派遣

時期：11月頃／日数：2週間／人数：20名程度／内容：日本企業の訪問・研究報告



●シンガポール国立大学への派遣

時期：2月頃／日数：10日間／人数：10名程度／内容：日本企業の訪問・現地学生とのディスカッション



●フライブルク大学への派遣

時期：9月頃／日数：4週間／人数：10名程度／内容：語学研修・フィールドワーク



経済学部 経済学科
4年 渡辺 隼介 さん

私の大学生活における留学は、1年生の夏休みにアメリカの語学研修に行ったことから始まりました。その後、2年生の夏休みにオーストラリアでグローバルプロフェッショナルプログラムに参加し、3年生の夏からシンガポール経営大学（SMU）で2学期間の交換留学を経験しました。SMUの留学中、私はファイナンス、マーケティング、会計、組織論の授業を履修しました。SMUで私が受けたほぼ全ての授業において現地学生と5人程度のグループを組み、プレゼンテーション等のプロジェクトワークが課されました。具体的な課題は、実際の企業の分析をし、現状の問題点を解決

するようなビジネスプランを提案することでした。グループワークを行う中で感じたことは、自分の力不足でした。シンガポールの学生は勉強熱心で、英語力、知識の量で圧倒されました。そこで、自分の力を理解し、業界分析などチームに貢献できる部分を見つけ、必死にやり抜いたことは自分の自信になりました。

今回の海外留学経験は、私にとって決して楽なものではありませんでしたが、学問的な知識に加え、忍耐強さ、実用的な英語力、そしてグループワークに必要なコミュニケーション能力など人間的な面でも学ぶことが多かったです。

シンガポール国立大学の学生コメント

名古屋大学の近郊にある自動車工場の見学をすることができ、「Kaizen」や「Kanban」方式を見ることができました。その後、名古屋大学の学生と一緒に工場の管理や生産方式について議論することができたのは非常に有意義でした。また、シンガポールでの市場のシェアが50%を超えている飲料メーカーが名古屋発祥であることを知り、驚きました。工場見学を行い、そこでマーケティング戦略についての説明を聞きました。同じ商品を世界中

で提供するのではなく、「正しい商品を求められる市場へ」という考え方はとても興味深く、市場戦略の新しい学びとなりました。これらの工場見学に行ったとき、日本語の説明文や企業側の解説を名古屋大学の学生がわかりやすく英語に翻訳してくれて、関連する戦略や課題について議論することができたのは、とても価値のある経験でした。



学部・修士5年一貫教育プログラムで学ぶ

+ 1年で取得するプロフェッショナルへのパスポート

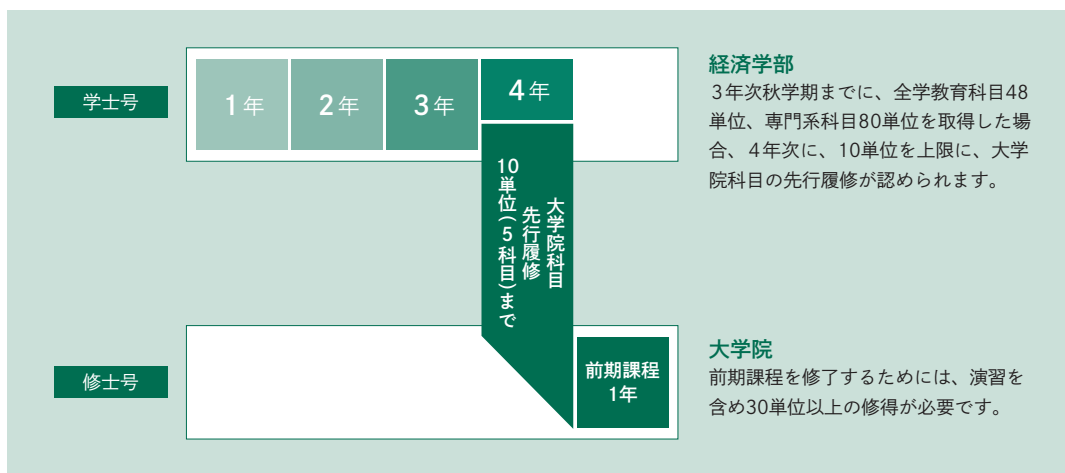
経済学部の4年の課程を修了すると、みなさんには、「学士」という学位が授与されます。その後、大学院で2年の課程（前期課程）を修了すると「修士」、さらにその後3年の課程（後期課程）を修了すると「博士」の学位が授与されます。修士は「マスター」、博士は「ドクター」ともよばれます。修士号を取得するということは、先端的な研究についてもよく理解して、学術的な調査や分析の方法を修得しているということです。

日本の、特に文系の学部では、修士・博士という学位を取得することは、あまり重要視されていないようです。しかし、

日本でも、理系の学部では修士の学位を持つことは普通になっています。また、海外では、どこかの大学を卒業したかに加えて、学士・修士・博士という学位の違いが意識されることも多いようです。将来、グローバルな企業で働こうと思っている人は、修士号を取得しておいても損をすることはないでしょう。

名古屋大学の経済学部には、学部4年+修士2年の計6年の課程を5年（学部4年+修士1年）で短縮修了できるプログラムがあります。3年次に一定の成績基準を満たしている学生はこのプログラムに挑戦することができます。

■ 学部・修士5年一貫教育プログラムの仕組み



わたしが大学院で学ぶ理由



経済学部 経営学科
4年 宮川 芽衣 さん

私が大学院に進学しようと決めた理由は、学部で学んだ基礎知識だけでなくそこから一歩進んだ勉強をしたいと考えたからです。特に興味を持った西洋経済史については3年生からゼミに所属し勉強する中で、専門的な知識を深めたいと感じました。3年生でほぼ単位を取り終えていたこともあり、4年生から大学院の授業を先行履修することでスピード感を持って修士号まで取得できる5年一貫プログラムへ応募することにしました。

大学院では留学生や社会人学生など、学部時代

にはあまり交流のなかった優秀な方々と共に勉強することができ、よい刺激を受けています。講義内容は難しいものもありますが、それだけにやりがいもあり充実した毎日を過ごしています。何よりも専門家である教授のご指導を受けることができる、整った環境の中で勉強に集中することができるのは今だけだと感じています。経済学をもっと勉強したい・専門的な知識を身につけたいと考えている方はぜひ5年一貫プログラムに応募してみてください。



卒業後の進路

就職率だけでなく、それぞれの適性にあった就職を支援

本学部では、毎年、ほぼ100%の学生が希望通りに就職しており、各種調査による、経済・経営・商学系の就職率ランキングでは、全国1位になっています。就職先は、製造業、サービス業、公務員まで多岐にわたります。また、毎年15~20名ほどの学生が公認会計士の資格取得を目指しています。

本学部では、同窓会であるキタン会と連携して、単に有

名企業や人気企業への就職を目指すのではなく、学生ができるだけ幅広い業種に目を向けて、適性にあった就職先を見つけるための支援をしています。例えばキャリアデザインについて考える「大学生のための職業論」を開講したり、東証一部上場企業を中心とした60社以上の企業による「キャリア形成講習」の開催、年齢の比較的近いOBと懇談できる企業見学会を開催するなどしています。



2019年度卒業
三菱UFJ銀行
塩谷 健太 さん

電車の中で、とある予備校のこんな広告が目に止まりました。

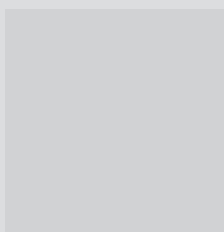
「人生は大学では決まらない。そう思う。でも。行きたい大学を目指す日々は、その努力は、人生を変える。と思う。」

就職活動も同じことなのかもしれません。どの企業に行こうとも、そこで何を成すのかが大事であり、その企業に入るだけではそれこそ人生は決まりません。しかし、自分の第一志望の会社に対して、できうる限りの研究・対策を行い、持てる力の全てをアピールして内定を得る。そうした過程には十二分の価値があるのではないのでしょうか。

名古屋大学経済学部にはその過程を支えるに足る環境、そして実際に支えてきたという圧倒的実

績があります。それは就職活動の時期だけに限りません。カリキュラムのなかに様々な企業の方のお話を聞ける機会が組み込まれており、早い時期から「働く」ということを考える手助けをしてくれます。就活期には説明会やセミナーが充実し、OB・OGとのコネクションが非常に強いのも、名大の特徴です。

4年間のほとんどを部活動に費やしたにもかかわらず内定をいただけたのは、学部の手厚いサポートがあったからだと確信しています。ぜひこの環境で自分だけのキャンパスライフ、更には人生のキャリアの第一歩を描いてみてはいかがでしょうか。



2019年度卒業
公正取引委員会
村上 萌 さん

名古屋大学経済学部では日々の勉強から就職活動に至るまで幅広くかつ手厚くサポートしてもらえます。

経済学を深く学びたい場合はもちろん、国内外の大学院進学を考える場合も多くの先生から丁寧な指導を受けられます。また、図書室には読みたい本・論文に関する相談やその取り寄せなど、親身になってわたしたちを支援してくれる体制が整えられています。何不自由なく勉強に集中できたおかげで、勉学に励みながら自分の将来について考えることができました。

そして、名古屋大学にはキャリアセンターをはじめとした就活生を支援する環境が整備されています。就職活動で分からないこと、不安がある際には、いつでも相談出来たので大変心強かったです。

私は大学院進学が就職かギリギリまで悩み、何度も先生方に相談に乗ってもらいました。学生生活に悩みや不安は付き物ですが、この大学で自分の視野や選択肢を広げられたからこそ大いに悩むことができたのだと思います。名古屋大学で勉学に努めながら自分の進路について考えてみるのは如何でしょうか。

主な就職先（2020年3月卒業）

アイシン精機、愛知県庁、愛知製鋼、アクセンチュア、アドヴィックス、アビームシステムズ、出光興産、大垣共立銀行、オークマ、オービック、沖縄銀行、かがやき税理士法人、鹿島建設、岐阜県庁、京セラ、経済産業省、公正取引委員会、国税庁、小松製作所、財務省関東財務局、サンゲツ、十六銀行、新東工業、スズキ、住友化学、住友生命保険相互会社、住友理工、税理士法人コスモス、セブンイレブン・ジャパン、大和証券、中京テレビ放送、中日ドラゴンズ、中日新聞社、中部電力、デンソー、東海旅客鉄道、東京海上日動火災保険、東邦ガス、豊田合成、トヨタ自動車、豊田市役所、豊田通商、トヨタ紡織、長野県庁、名古屋国税局、名古屋市役所、名古屋鉄道、ニトリ、日本ガイシ、日本航空、日本製鉄、日本赤十字社、日本年金機構、日本郵便、任天堂、野村證券、日立製作所、富士フイルム、富士通、ブラザー工業、プロトコーポレーション、本田技研工業、マキタ、みずほフィナンシャルグループ、三井住友信託銀行、三菱UFJ銀行、三菱電機、明治安田生命保険相互会社、ヤマハ、有限責任あずさ監査法人、有限責任監査法人トーマツ、楽天、JCB、JFEスチール、JR東海エージェンシー、NEC、NTTドコモ、NTT西日本、PwCあらた有限責任監査法人、SMBC日興証券 ほか

大学院進学

大学卒業後、さらに深く学ぼうとする人のための教育・研究のための場が大学院です。大学院は、単に研究者になるためだけのものではありません。大学院には2年の前期課程（修士課程）とその後3年の後期課程（博士課程）があり、前期課程を修了した時点で企業などに就職する道も開かれています。

大学院では、講義を通じて教科書の内容を学ぶだけでなく、指導教員の下で、専門書や論文を読み、実地調査やデータの分析を通じて、学問の本質に迫ります。一方的に知識

を教えられるのではなく、指導教員との双方向の対話を通じて「問う力」「考える力」「説明する力」を身につけます。また、大学院には留学生や社会人として大学院に通っている人達がたくさんいます。こうした多様な人達と触れあい、視野を広げられることも大学院の魅力です。

企業に就職する前に、社会を俯瞰的に捉えられるようになりたい、人とは違う新しい発想をしてみたい、自分の意思決定に自信を持てるようになりたい、そう思ったら、大学院進学も良いかもしれません。



経済学研究科
社会経済システム専攻
令和元年度 日本学術振興会
育志賞受賞
D3 塚本 高浩 さん

私は、大学2年生の時に、経済学部プログラムで環境都市として知られるドイツ・フライブルクに1カ月の短期留学をさせていただきました。フライブルクでは、人口約20万人という規模ながら路面電車4路線64停留所をはじめとする公共交通ネットワークが構築され、活気が溢れる街の姿に衝撃を受けました。日本の多くの街で欧州の都市の良い点の導入を試みているのですが、成功例が多いとは言えません。政策を行うためには成功例の表面的な模倣ではなく、メカニズムの解明が極めて重要であると私は考えています。しかし、この短期留学時にフライブルクの交通や街づくりに関する分析を試みましたが、なかなか納得のいく

分析はできませんでした。そこで、現実社会をさらに深く分析するための知識や技能を身につけることが必要と考え、大学院に進学することを決めました。

大学院では、実社会から得られたデータを用いて地域産業や、地方財政、地域交通、教育といった様々な研究を行っています。我が国は少子高齢化、地域産業の衰退、公共交通の確保など、地域が直面する課題が山積しています。実世界で起きていることのメカニズムを解明しようとする経済学のフレームワークは、これらの地域の問題を解決する為の重要なツールとなると確信しています。

卒業生就職等状況一覧表

業 種		2017年度	2018年度	2019年度
1	農 林 ・ 水 産 業		1	
2	鉱 業	1		
3	建 築 業	7	3	2
4	製 造 業	食品・たばこ・飲料	7	1
5		繊維・衣類・その他の繊維	1	1
6		印 刷 等		1
7		化学工業・石油・石炭製品	4	4
8		鉄鋼業・非鉄金属・金属製品	12	7
9		一 般 機 械 器 具	2	10
10		電気・情報通信・機械器具	6	8
11	業	電子部品・デバイス	1	1
12		輸 送 用 機 械 器 具	22	24
13		精 密 機 械 器 具		
14	そ の 他	5	6	8
15	電 気 ・ ガ ス ・ 水 道 業	5	2	6
16	情 報 通 信 業	25	21	29
17	運 輸 業	10	6	7
18	卸 売 業	4	3	5

業 種		2017年度	2018年度	2019年度
19	小 売 業	1	6	3
20	金 融 業	35	27	24
21	保 険 業	6	5	4
22	不 動 産 業	8	5	3
23	飲 食 店 ・ 宿 泊 業			
24	医 療 ・ 福 祉			2
25	教 育 ・ 学 習 支 援 業	5	3	2
26	複 合 サ ー ビ ス 事 業	3	2	1
27	サ ー ビ ス 業	7	7	8
28	国 家 公 務	5	6	6
29	地 方 公 務	27	7	10
30	そ の 他	7	22	29
小 計		216	189	202
31	大 学 院 進 学	16	8	6
32	そ の 他	4	10	8
計		236	207	216

附属機関・施設

学部生・院生の学びをフォロー

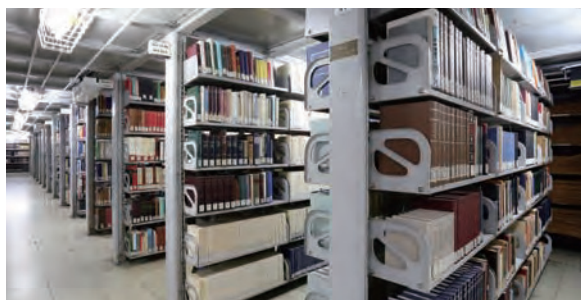
名古屋大学には、中央図書館の他に、各学部の図書室があります。経済学図書室は、その蔵書の質と量、閲覧環境等において、名古屋大学の学部図書室の中でも指折りの図

書室です。また、経済学部・経済学研究科には国際経済政策研究センターがあり、各種の統計データ、産業、企業、労働等に関する資料を入手することができます。

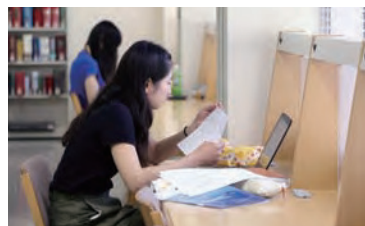
経済学図書室

経済学図書室は、国内外の経済学及び周辺分野の図書、雑誌、電子ジャーナル、最新のデータベース、電子書籍を揃えています。なかでも、EU、OECD、IMF等の国際機関刊行物、アメリカ等外国政府刊行物は蔵書の特色の一つです。特にEUについては、イギリス等がECに加盟した1973年以来、経済学図書室はEU情報センターに指定され、EU公式資料の主たるものはほとんど受け入れています。

また、伝統ある経済学、社会思想の古典類についてもよく収集されており、貴重書室には、1850年以前に刊行された図



書が、革の背をみせて並んでいます。中には、アダム・スミスの『国富論』、マルクスの『資本論』、ケインズの『雇用、



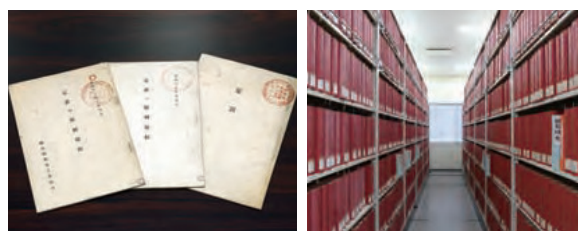
利子および貨幣の一般理論』の初版本等もあります。経済学の礎を築いたり、世界史を動かすものになった名著が、出版時の雰囲気や今に伝えています。この他に、「イギリス革命文庫コレクション」（イギリス革命に関する17世紀から18世紀の原資料およびその研究文献）、小川文庫（イギリス経済学とくに重商主義者、古典学派、リカード派、社会主義派の著作）、徳重文庫（18世紀および19世紀の西欧社会思想）もあります。

さらに、希望する図書や雑誌が学内にない場合も、他大学や国立国会図書館から図書を借用したり、論文のコピーを取り寄せることができるなど、学習・研究に不可欠の図書室となっています。

国際経済政策研究センター

国際経済政策研究センターの起源は、名古屋大学経済学部の前身である名古屋高等商業学校（1920年創立）に設けられた産業調査室です。後に「雁行形態論」で国際的に有名になる赤松要が、実証に基礎づけられた経済の研究をするためには、統計などを体系的に収集する組織が必要であると訴えて、1926年に産業調査室が設置されました。

これを継承した名古屋大学経済学部・経済学研究科は、今日まで、着々とデータを集め続けてきました。90年以上にわたって地道に蓄積された経済統計資料、政府刊行物、企業体



資料の内容は中部地区では抜きん出たもので、たとえ大金をつぎ込んでも今からではもう決して作られない貴重な財産となっております。この他、社史の収集や荒木光太郎文庫（元東京帝国大学経済学部教授のコレクション）をはじめ、所蔵コレクションの整理も積極的に行っており、学内外から幅広く利用されています。もっとも、今日では単なる資料収集・整理組織ではありません。1970年代からの度重なる改組によって、研究機関としても着実に発展してきました。研究・教育の両面で経済学研究科と緊密に協力しつつ、広い視点から実証的な調査・研究を行っています。そして、その成果を内外の大学、研究機関をはじめ広く社会に還元しています。

経済学部・経済学研究科同窓会「キタン会」

各界の第一線で活躍する先輩

名古屋大学経済学部・経済学研究科には「キタン（其湛）会」という、名古屋高等商業学校（1920年創立）から受け継がれた同窓会組織があります。その名称は、中国の古典『詩経』『小雅』篇にある「子孫其湛其湛曰楽各奏爾能」（天から幸福を授かり、子孫がその恵みを楽しみ、得意の技能を披露している）という子孫繁栄の祝歌から採ったもので、「母校の発展を願ってきた多くの先輩の志を受け継ぎ、後輩の幸福に寄与する」という意味があります。2万1000人以

上の卒業生のために、北海道、東京、関西をはじめ全国に11の支部を設けています。また、名古屋市職員で組織する「丸八キタン会」や、東邦ガス・アイシン精機など、企業・団体別に同窓会を組織しているところもあります。キタン会は、卒業生の親睦を深めるだけでなく、経済学部や経済学研究科に対して各種の支援事業を行ってくれています。入学時から、在学中、卒業時まで、みなさんの学生生活を財政面と人的ネットワークの面から支えてくれています。

活 動 内 容

『世代を超えて有意義な時間を共に過ごせる場』です。 繋がりネットワークをつくろう！

キタン会は年間を通じて、パーティーや交流会を主催しています。

入学時には2・3年生が新入生のために企画するウェルカムパーティーがあります。

新入生の9割以上が参加。先輩とふれあい・新しい友との出会い、楽しいひとときとなっています。6月名大祭・10月ホームカミングデーにはキタン学生交流会を企画し世代を超えての交流を深めています。1月にはニューイヤーパーティーを開催しています。企業のトップや各界で活躍するOB/OGの参加があり、スゴい先輩たちと親しく会話し学ぶこともたくさんあり貴重な機会と



なります。3月の卒業式には謝恩会を開催しています。

メルマガ・Facebookで『タイムリーな情報』を発信しています。

学業も就職活動も支援します！

ドイツ・フライブルク大学へのサマースクール。ベトナムハノイ貿易大学・シンガポール国立大学との海外研修プロジェクトなど短期留学の助成をしています。

企業研究や就職活動を支援するために企業見学会を開催。TOYOTA・豊田自動織機・大同特殊鋼・麒麟ビール・日本ガイシ・アイシン精機・デンソーなどの工場見学。中部電力・東邦ガスのインフラ施設の見学など。見学後にOBとの懇親会もあります。これらの企業のほか、就活生に人気の企業による「キュリア形成講習」も後援しています。就活以外の学年の参加もあり、企業・業界が自分に適しているか？発見できます。さらに、各企業の先輩や内定者による就活相談会を開催しています。先



輩だから相談できること、OBならでの話を聞くこともできます。



キタン会 会長
鈴木 武

刈谷高から、1970年経済学部卒。
(元)トヨタ自動車・専務
(現)東海国立大学機構・理事

同窓の絆！・交流の場！を大切にしています。

キタン会のロゴマークは同窓生・学生・教員の《三つの和（輪）》があつてこそ、お互いの繁栄が得られるとの「其湛」の精神を著しています。ネット社会の利便性を否定するものではありませんが、三つの和（輪）がさらに広がり、世代を超えた交流ができることを願っています。



大学院修了後の進路

大学院修了後は、専門知識を活かした職業に就くことが多いようです。前期課程（修士課程）を修了して就職する場合には、金融機関、監査法人、あるいは官公庁への就職が目立ちます。後期課程（博士課程）を修了して就職する場合には、大学などの研究職に就くことがほとんどです。

■前期課程

あずさ監査法人、岡村製作所、監査法人トーマツ、経済産業省、十六銀行、リンナイ、パナソニック、中京テレビ放送、中部国際空港、東海東京フィナンシャル・ホールディングス、豊田自動織機、中日本高速道路、名古屋銀行、名古屋証券取引所、三重県庁、岐阜県庁、ブラザー工業、三井住友海上火災保険、三井ホーム、三菱自動車工業、三菱重工業 ほか

■後期課程

宇部工業高等学校、小樽商科大学、金沢星稜大学、十六総合研究所、総務省、高崎経済大学、中部大学、デンソー、同志社大学、東北学院大学、豊田自動織機、名古屋産業大学、名古屋市立大学、名古屋商科大学、南山大学、福島大学、ニッセイアセットマネジメント、三重県庁、三井物産、三菱UFJ銀行、University of Dhaka ほか



ブラザー工業(株)
営業・マーケティング推進部
プロジェクト・マネジャー
小 原 浩一 さん
2019年度社会人コース修了

メーカー勤務30年近い私が大学院を志した理由は、人事担当としての専門性を高めたい、人生百年時代を踏まえて学び直したい、チャレンジしたい、の2点でした。

仕事との両立は不安でしたが、経営論や組織論などは実務経験も活き、夜間&土曜講義で必要単位数を満たし、無事2年で卒業できました。それどころか、理論×実践というアカデミズムと実務との切磋琢磨は血沸き肉躍る面があり、熱い議論には仕事の疲れも吹っ飛ぶものが

あります。

恩師のご指導の下、研究テーマは、組織文化論とキャリア論、経験学習理論が融合したものになりました。そしてこうした研究は本業にも大いに役立っています。もちろん何度も書き直した修論作成など、苦勞も少なくありませんでしたが、いただいた良質の刺激による視野の広がり、視座の高まり、視点の深まりなどは、私の残り半生を一層充実したものにしてくれるに違いない、もはや感謝しかありません。

大 学 院 入 試 情 報

博士前期課程一般入試

1. 出願資格
大学を卒業した者及び出願年度の3月31日までに卒業見込みの者
2. 募集人員
○社会経済システム専攻 30名 ○産業経営システム専攻 14名
3. 選抜の方法
(1) 第一次試験（学科試験）
(2) 第二次試験（口述試験）〈第一次試験合格者のみ〉
※英語能力については、TOEFL-iBT / TOEIC / IELTSの成績通知書によって評価します。

出願書類受付期間（一般入試・社会人一般コース共通）

第1次募集 → 8月中旬頃 第2次募集 → 12月下旬頃

博士前期課程社会人一般コース

1. 出願資格
大学を卒業した後、通算して満3年以上の社会経験を有する社会人
2. 募集人員
10名程度
3. 選抜の方法
(1) 第一次試験（学科試験）
(2) 第二次試験（口述試験）〈第一次試験合格者のみ〉

専 攻	一般入試	社会人一般コース
社会経済システム専攻	A類は3題、B・C・D類は各2題出題される。受験者は、A～D類より合計2題を選択すること。ただし、自分の申請した専攻に対応する類の中から少なくとも1題は選択すること。	A類は3題、B・C・D類は各2題出題される。受験者は、全体の中から類を問わず2題選択する。
産業経営システム専攻	C類（経営学） D類（会計学）	
	E類（経済・経営事情関係）	

【問い合わせ先】名古屋大学文系教務課（経済G） MAIL. soec-apply@adm.nagoya-u.ac.jp

※2020年度実施の試験についてはコロナ感染症予防の影響により一部内容を変更しています。
詳細は経済学研究科ホームページをご確認ください。



理論×実践

社会人大学院生として学ぶ

経済学や経営学の面白さは、二十歳前後の実社会を知らない若者には分りにくい部分があります。職に就いて、世の中や組織の仕組みを知ると、経済学や経営学の面白さも分かり、興味が湧いてくるのではないのでしょうか。「もう一度勉強してみたい」「もう少し勉強してみたい」「あのとき聞いた話をもう一度聞きたい」そんな社会人の要請に応えるために、私たちが大学院の社会人リフレッシュコースを立ち上げたのは、1996年のことでした。

しかし、当時は、土日・夜間の授業は少なく、授業内容は旧態依然としており、社会人学生の期待に十分に應えることができていませんでした。私たちは、様々な制約がある中で、長く試行錯誤を繰り返してきました。そして、リフレッシュコースの立ち上げから20年目を迎える2016年、もう一度、社会の要請に応えられる大学院づくりにチャレンジすることにしました。土曜日集中講義と夜間講義、実務経験者を講師に迎えた講義を増やし、必ずしも昼間の講義を受講しなくても修了できるようにしました。また、名古屋

働きながら大学院に通う場合の科目履修例

1年次春学期						
1限 8:45-10:15	2限 10:30-12:00	3限 13:00-14:30	4限 14:45-16:15	5限 16:30-18:00	6限 18:15-19:45	7限 20:00-21:30
月						
火						
水						
木						
金						
土						
1年次秋学期						
1限 8:45-10:15	2限 10:30-12:00	3限 13:00-14:30	4限 14:45-16:15	5限 16:30-18:00	6限 18:15-19:45	7限 20:00-21:30
月						
火						
水						
木						
金						
土						
2年次春学期						
1限 8:45-10:15	2限 10:30-12:00	3限 13:00-14:30	4限 14:45-16:15	5限 16:30-18:00	6限 18:15-19:45	7限 20:00-21:30
月						
火						
水						
木						
金						
土						
2年次秋学期						
1限 8:45-10:15	2限 10:30-12:00	3限 13:00-14:30	4限 14:45-16:15	5限 16:30-18:00	6限 18:15-19:45	7限 20:00-21:30
月						
火						
水						
木						
金						
土						

学の経営学研究科と単位互換協定を結び、これらの大学院の授業科目を相互履修できるようにしました。社会人が、実務における問題や経験を持ち寄って集い、実務とアカデミズムとが切磋琢磨し合える、そんな学びの場を提供したいと思っています。



他分野×経済学

他学部を卒業して経済・経営を学ぶ

経済学・経営学は、法学、数学、工学、政治学、倫理学、心理学、統計学、物理学など、他の学問分野の影響を受けながら発展してきました。最近では、様々な領域融合型の大学院が開設されていますが、経済学・経営学は、まさに文理融合・領域融合の学問であり、その成功事例と言えるでしょう。今では、確立された一つの学問分野であることに誰も疑いを持ちません。

しかし、経済学・経営学を発展させるためには、今後もまだまだ他分野の知識が必要です。他の学部で培った専門的知識は経済学研究科でも活かされることでしょう。

本研究科は、経済学部以外の学部を卒業した人も広く受け入れています。これまでも、理学部、法学部、文学部、工学部などの卒業生を受け入れてきました。また、研究科の教員にも、経済学部以外の学部を卒業した教員がたくさんいます。こうした仲間や教員と日常的に関わることで、専門的知識だけでなく、異分野の人とのコミュニケーションを可能にする、幅広い教養や知識、論理的思考力を自然と身につけることができます。

荒山裕行（名誉教授：農学部卒）	農業経済	安藤隆穂（名誉教授：法学部卒）	社会思想史
高桑宗右エ門（名誉教授：工学部卒）	経営情報論	犬塚 篤（教授：工学部卒）	経営組織論
隠岐さや香（教授：教養学部卒）	社会思想史	鍋島直樹（教授：教育学部）	政治経済学
樋野 励（教授：工学部卒）	生産管理論	中島英喜（准教授：工学部卒）	ファイナンス
中村さやか（准教授：教養学部卒）	医療経済学		



双方向の対話を通じて鍛える

問う力・考える力・説明する力

大学院における学修は、講義科目を履修して単位を取得する、あるいは、本や論文を読んだたくさんの知識を身につけることが中心ではありません。むしろ、指導教員との双方向の対話を通じて、研究テーマについて考え、修士論文・博士論文を執筆することが中心です。論文作成の一般的な流れは次の通りです。

多くの場合、研究のテーマは指導教員によって与えられるのではなく、学生自らが見つけ出さなければなりません。そのためには、まず、「どんな問題を解決すれば、我々の『知』が一歩前進するのか」を考えます。つまり、まずは「解」ではなく「問い」を発する力を付けなければなりません。「問い」が決まったら、実は「問い」を探る過程において「解」の見当はついていることが多いのです。ただし、それが間違っていないことを、丹念な論証と実証の

積み重ねによって確認します。「解」に辿り着いたら、それを論文にまとめます。論文では、自分の発した「問い」がいかに重要であるか、どのような手順で「解」に辿り着こうとするのか、そして、どのような「解」が導かれるのかを、順序よく説明します。

このようなプロセスを経験することによって、価値ある「問い」を発する力、科学的な方法で「考える力」、論理的に「説明する力」を身につけます。

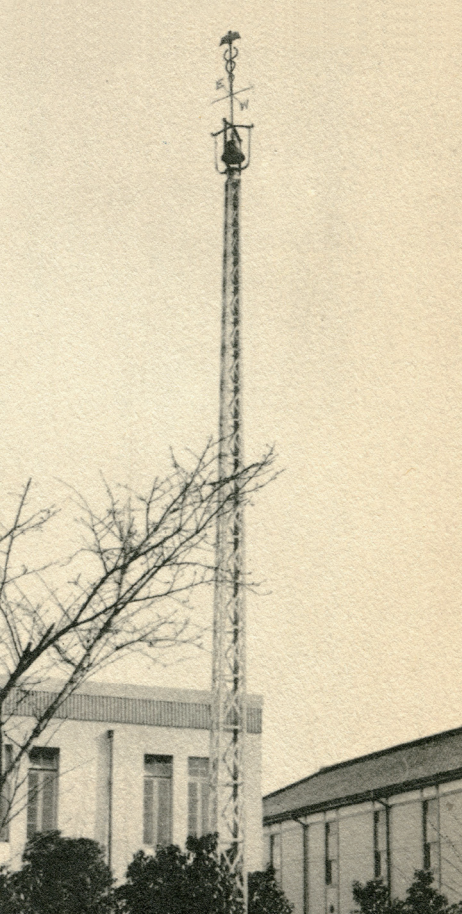


大学院の開講科目例（2020年度）

分野	基礎科目	専門科目	課題設定型講義・ワークショップ
理論・政策	上級価格理論Ⅰ・Ⅱ 上級所得理論Ⅰ・Ⅱ 上級計量経済Ⅰ・Ⅱ 上級数理経済Ⅰ・Ⅱ 価格理論Ⅰ・Ⅱ 所得理論Ⅰ・Ⅱ エコノメトリクスⅠ・Ⅱ	国際経済 A・B 公共経済 A・B 経済政策 A・B 農業経済 A・B 労働経済 A・B 産業組織 A・B 財政 A・B 金融 A・B	ミクロ・マクロ経済分析：理論と実証 統計分析 日本経済論
制度・歴史	上級政治経済学Ⅰ・Ⅱ 上級経済史Ⅰ・Ⅱ 上級経済学史Ⅰ・Ⅱ	現代資本主義 A・B 経済学史 A・B 社会思想史 A・B 日本経済史 A・B 西洋経済史 A・B	社会経済研究
経営・会計	上級経営Ⅰ・Ⅱ 上級会計Ⅰ・Ⅱ マネジメントⅠ・Ⅱ アカウンティングⅠ・Ⅱ	経営労務 A・B ファイナンス A・B 生産管理 A・B マーケティング A・B 経営組織 A・B 経営戦略 A・B 財務会計 A・B 管理会計 A・B 監査 A・B 経営分析 A・B 国際会計 A・B 経営情報 A・B	経済体制と企業経営 Introductory Accounting（英語） 組織論学説研究 現代経営論 人事管理 危機管理論 知財戦略 企業の海外戦略 製品開発マネジメント 金融・ファイナンス

※修了のためには、前期課程では演習を含め30単位（15科目）、後期課程では演習を含め20単位（10科目）を履修が標準必要です。

※本研究科では、レギュラーで開講される基礎科目・専門科目以外に、課題設定型講義、課題設定型ワークショップとして、その時々ニーズに合わせた科目や最先端の研究に触れる機会を提供しています。



理論 × 実践 × 倫理

経済学・経営学の特徴はその総合性にあります。経済学・経営学は、第一義的にはサイエンスであり、経済社会を対象とするディシプリンとして、普遍的に成立する抽象的な理論やモデルを志向します。そのために、先行研究を踏まえて自身の仮説を提示し、資料やデータを集めて仮説の成否を検証するという手続きが繰り返されます。他方で、経済学・経営学は実学でもあります。われわれは家計、企業、政府、その他あらゆる経済主体の提起する課題に対し、適切な解答を用意しなければなりません。そこで求められるものは、科学的に確証され普遍的に成立する理論に留まらず、日本であれ、アジアであれ、当該個別社会において観察される一般的知見や経験であるかもしれません。さらに、人々

の厚生の上、経済社会的正義の実現を目指す過程においては、人文的叡智に裏付けられた倫理的価値判断も避けられません。

経済学・経営学において、これらの要素の結びつきは不可分です。他の社会科学分野でも、同じような理論・実践・倫理の三要素の交絡はあるでしょう。しかし、経済学・経営学ほどの緊張関係にはないと思われます。近年は専門分化が進み、ともすれば視野狭窄に陥りがちですが、私たちは、この経済学・経営学に固有の不可分性・総合性を常に意識して、研究と教育を進めています。

「創統の鐘」の由来

「創統の鐘」は、名古屋大学経済学部の前身である名古屋高等商業学校の第一回卒業生によって寄贈された其湛塔の塔頂にあつて、二十有余年に亘り授業の開始と終了を告げた時鐘であります。

その妙音は近隣の市民にも愛されましたが、太平洋戦争の深刻化とともに、塔は取り壊され鉄材として供出されました。幸い「創統の鐘」は難を逃れ、名古屋大学経済学部に継承され、今日に至っております。

鐘銘は初代校長渡辺龍聖氏の撰になるもので、出典は孟子・二巻の「君子創業垂統、為可繼也」君子は業を創め統を垂れ、継ぐべきことを為さんのみ（君子はのちに発展する事業の基礎を築き、その事業を子孫に伝えるようにすればよい）にあります。先人の志を後輩が受け継いで発展させる、この「創統の精神」が鐘の音とともに永遠に本学に伝えられることを祈念いたします。

経済学へのアプローチ

名古屋大学大学院経済学研究科案内

2021



名古屋大学
NAGOYA UNIVERSITY